

# バングラデシュ国統合エネルギー・電力マスタープラン策定プロジェクト



プロジェクト期間：2021年6月から2024年1月まで

※統合エネルギー・電力マスタープランは2022年12月を目途に策定予定

堅調な経済成長に伴って一次エネルギー需要が拡大しているバングラデシュでは、エネルギー供給構造の転換点を迎えている。需要想定の変化や低・脱炭素に向けた世界的な気運の高まりなど、現状に即したエネルギー計画の見直しを行う。

上位  
目標

エネルギーの安定供給及び経済合理性の確保を前提とした低・脱炭素エネルギー需給システムが構築される。

プロジェクト  
目標

バングラデシュの持続可能な開発の達成のために必要となる、低・脱炭素エネルギー需給システム構築の実現を見据えた統合エネルギー・電力マスタープランが策定される。

## ◆プロジェクトの流れ

### エネルギーデータ管理体制整備

- ✓ データ管理の現状確認、課題分析
- ✓ 最新データの収集・分析

- データ管理体制の提案
- GHGインベントリ報告書作成の支援、提案
- GHG削減目標の更新に向けた提案

エネルギーデータ管理  
システムの構築支援と  
能力強化

### 国家計画及び各セクターの 既存マスタープランのレビュー

- ✓ 既存計画（NDC、各セクターのMP等）のレビュー
- ✓ 既存MPの供給量、設備能力、開発計画、消費効率等の見直し

一次エネルギー・電力供給計画  
(目標年：2030、2041、2050)

統合エネルギー・電力  
マスタープランの策定

低・脱炭素社会の  
実現に向けた  
アクションプラン作成

### エネルギー需要予測

- ✓ 既存及び収集データを基に、モデルを使って将来の需要を予測

- 想定された電力・エネルギー需要を基に国内生産能力、輸入電力・エネルギーを考慮

- ・電力システムMP
- ・省エネルギーMP
- ・ガスセクターMP
- ・ガス規制管理組織の能力・権限強化
- ・戦略的環境評価（SEA）報告書案作成

- 想定されるプラン
- インフラ整備
  - 再エネ導入
  - エネルギー効率改善
  - 新エネルギーの導入
  - エネルギーデータ管理
  - LNG法的枠組み整備等

### 環境社会配慮

- ✓ 環境社会面の課題等の抽出
- ✓ 環境社会面からの影響を比較検討

### LNG輸入に係る法的枠組み検討

- ✓ 現行法令、規則の分析と課題の特定（商取引、品質管理、環境、安全等）

- 諸外国の例を参考に、関連法 並びに規則の草案策定のための提言